

とちぎ

県民だより

12月号



編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160



県内で生産されるお米は378,100トン(平成11年度)。栃木県は全国有数のおいしいお米の産地です

“食と農の郷とちぎ”

をめぐりて

県では、今年三月に「首都圏農業推進計画21」を策定し、本県の農業・農村振興の基本的方向とその実現に向けての具体的施策を明らかにしました。この計画に基づき、魅力ある農業・農村づくりに積極的に取り組んでいます。今回は、その取り組みの中から「地産地消の推進」について紹介します。「地産地消」とは、学校給食や農産物直売所などを通して、地元で生産される農産物を地元で消費する機会を広めようという取り組みです。

県内産コシヒカリを学校給食で

県では、県内で生産されるコシヒカリの学校給食への利用をすすめています。子供たちに、地元でとれたお米のおいしさをもっと知ってもらいたい、農業をもっと身近に感じてほしいとの考えから取り組んでいるものです。現在、県内のほぼ全ての公立小・中学校で、今年収穫された県内産コシヒカリが利用されています。

取材した南那須町立江川小学校のこの日の献立は「五目ごはん」。子どもたちは、炊きたてのごはんに味つけされた具をまぜて、おいしそうに食べていました。校長先生は、「地元のお米なので安心です。子どもたちも残さず食べてくれます。給食をきっかけに、子どもたちが地元の農業にも興味を持つよう教えたい」と話します。県では今後、地元で生産される野菜なども学校給食で使われるよう取り組みたいと考えています。

農産物直売所・農村レストランですむ交流



県内には200を超える農産物直売所があります

でも教えてもらっています」と利用者者に好評です。直売所を運営する組合長さんも、「お客さんの要望や評価を直接聞けるので勉強になり、やりがいや励みにもなります」と話しています。馬頭町小口の農村レストランでは、手作りハムをはじめ、お米や野菜にいたるまで地元産にこだわった料理を提供。「新鮮でおいしい郷土の味」として、利用される方たちによるこぼれています。

食(消費者)と農(生産者)、お互いを理解するために

地元で生産される様々な農産物を新鮮なうちに地元で消費する、こうした機会をさらに広めようと、農家の方々が自分で作った農産物を直接販売する「農産物直売所」や、地元でとれた農産物を活用する「農村レストラン」への支援を行っています。ここでは、生産者と消費者とが直接交流し、お互いのニーズを知る機会にもなっています。鳥山町興野にある直売所では、「とれたての旬の野菜が手に入るのが魅力です。漬け物の作り方も

工場で作られた無添加のハムは、すぐ農村レストランへ



平成十一年(一九九九年)度の日本の食料自給率は約四十パーセント。主要先進国の中で、最も低い数値となっています。こうしたなか、県では、ひとりでも多くの県民の皆さんに、「食」を通して「農(農業・農村)」を知っていただくことが重要であると考えています。「地産地消」を推進することで、地元農産物の消費が拡大できるとともに、消費者と生産者の交流が

深められるなど、本県の農業・農村の振興につながるものと考えています。そして、県民の皆さんが地元の農産物を「知る」、「味わう」ことをきっかけに、私たちの「食」を支える農業・農村の役割について、もっと関心を寄せていただければと期待しています。

◇問合せ 県農政課

TEL 028-623-12283

いっしょに考えましょう とちぎの課題

行政評価をすすめています。

県では、今年度から「とちぎ政策マネジメントシステム」を導入しています。これは、県の施策について、客観的に現状を評価して、より効果的な施策に改善していくための新しい行政評価の手法です。

将来に向け夢のある「とちぎ」を築いていくためには、様々な課題に正面から向き合い、県民の皆さまと一緒に考えながら取り組んでいくことが必要です。

このため、毎年こうした県の政策の検討状況を広く公開し、県民の皆さまからご意見をいただくことにしました。

今回公表した政策マネジメントの結果について、その概要をお知らせします。

評価結果と改善方針

主な評価結果は次のとおりです

評価は、県の総合計画である「とちぎ21世紀プラン」に掲げた73の施策について実施しました。指標の動向や県政モニター調査の結果、新たな状況変化等を基に、目標の達成状況や今後の課題を明らかにしました。

さらに総合的な評価結果を、その施策は順調に進んでいるかどうか、課題はどの程度かによって、三段階に区分し、課題のある施策を中心に、今後の重点改善方針を決定しました。

順調に進んでいる施策

- 青少年を育成する基盤づくり
- 地域保健福祉の充実
- 食と農を支える基盤づくり
- 良好な地域環境の保全

…など39施策

概ね順調に進んでいるが、一部に改善すべき課題がある施策

- 生きる力を育む学校教育の推進
- 子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進
- 新たな事業創出の促進

- 交通安全の確保 …など30施策
- 目標達成が困難で、改善すべき課題がある施策

例えば「生きる力を育む学校教育の推進」という施策は、

子どもたちに、自ら学び、自ら考える力など「生きる力」を身につけさせることを目的としています。

例：生きる力を育む学校教育の推進

◆ 指標 児童生徒の学習到達度等に応じた授業実施校の割合

(H12) (H13見込み) (H17目標)
35.0% → 41.6% → 75.0%

◇ 関連データ：問題行動等の調査結果

(H11) (H12)
・いじめ 3,201件 → 2,102件
・暴力行為 882件 → 837件
・不登校 2,859人 → 2,847人

この他、主な施策の重点改善方針は次のとおりです

- ◆ 乳幼児医療費に係る支援の拡充
- ◆ 個別ケア機能を備えた児童養護施設の整備促進等による重度虐待を受けた児童のケア体制の充実
- ◆ 休日夜間の専門医療確保等による小児救急医療体制や脳卒中等の早期治療体制の充実

- ◆ 工業団地等への企業誘致やIT関連産業等の集積のための新たな優遇措置の創設
- ◆ 暴走族の根絶に向けた取り組みの体制の強化
- ◆ 県の率先した新エネルギー導入による県民、事業者への普及拡大

皆さまのご意見をお待ちしています

来年三月には、「とちぎ21世紀プラン」の平成十四年度の実行計画を策定します。策定にあたっては、県民の皆さまのご意見をお聞きし、活用していきたいと考えています。

ご意見は、県ホームページからのメール、郵便、ファックスでお寄せください。

◆あて先・問合せ

県企画調整課
TEL 028-623-2206
FAX 028-650-2045
e-mail newplandpref.tochigi.jp

政策マネジメントの結果は、こちらをご覧ください

◇ 県ホームページ

http://www.pref.tochigi.jp/

◇ 県民センター

- ・中央 県庁本館2階
TEL 028-623-3766
- ・県南 下都賀庁舎内(栃木市神田町6-6)
TEL 0282-24-5665
- ・県北 那須庁舎内(大田原市中央1-9-9)
TEL 0287-23-1555

TOPICS



会場には300名の栃木・福島県民が集まりました

新都市像をテーマにフォーラム

十一月十九日、「国会等移転フォーラム」(栃木・福島両県民会議主催)が宇都宮市内で開催されました。

「二十一世紀の新都市を語る」をテーマに行われたパネルディスカッションで、大西隆東大教授は「分散した都市形成が各都市の活力を生む」と、堀繁東大教授は「日本の伝統的な都市づくりを現代的にアレンジすることが大切」と提言。田嶋進県企画部長は「自然と共生する都市づくりが必要」と栃木・福島地域の適地性を訴えました。

◇ 問合せ
県企画調整課国会等移転対策室
TEL 028-623-2209

とびくす



どまんなか たぬまモニュメント(写真右)が目印

田沼町に「道の駅」誕生

十一月一日、田沼町吉水(主要地方道佐野・田沼線沿い)に、県内で九番目の道の駅「どまんなかたぬま」がオープンしました。この名称は、田沼町が日本列島の中心に位置することから「どまんなか」と付けられました。

百台の駐車スペースのほか、レストラン、交流ホールなどを備えた「ふれあい交流館」や農産物直売所などがあります。

休憩に、観光・道路情報の入手に、皆さまぜひお立ち寄りください。

◇ 問合せ 県道路維持課
TEL 028-623-2426

TOPICS

本県の文化功労者を表彰



左：原田さん、右：須賀さん

学術、芸術等を通じて本県の文化振興に貢献した方を表彰する「県文化功労者表彰式」が十一月一日、県公館で行われました。

表彰を受けたのは二名の方です。須賀淳さん(77)は、栃木県交響楽団の発展やオペラ活動の振興に貢献されるなど、音楽文化の向上に寄与されています。原田平治郎さん(89)は、美術団体である春陽会栃木研究会の発足や後進の指導など、本県の洋画の分野における芸術文化の発展に貢献されています。

◇ 問合せ 県文化振興課
TEL 028-623-2154

県政世論調査の結果をお知らせします

県民の皆さんの暮らしに対する意識などを把握するために、毎年、県政世論調査を実施しています。今回は、今年5月から6月にかけて20歳以上の男女2,000人の方を対象に郵送方式で実施しました。

調査項目は、毎年実施している「暮らしの変化」、「県政への要望」の2項目と、県政の課題に関する6項目です。

県政世論調査の結果は、企画の立案や業務を進める上での重要な資料として、幅広く活用しています。

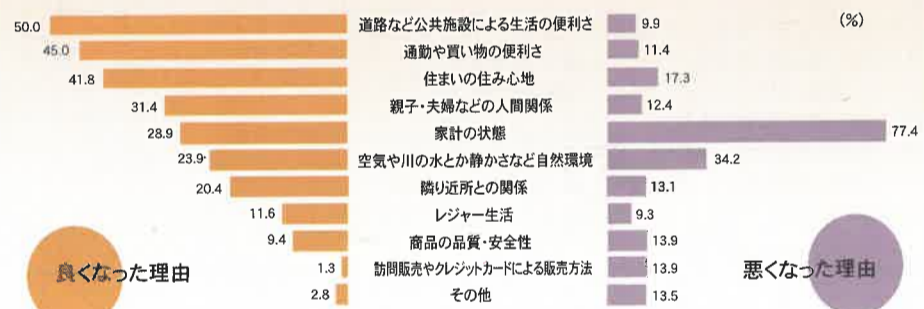
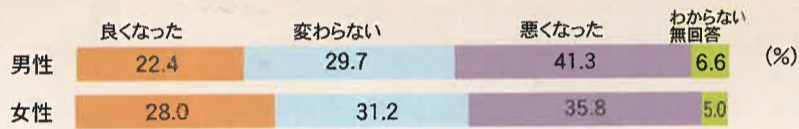
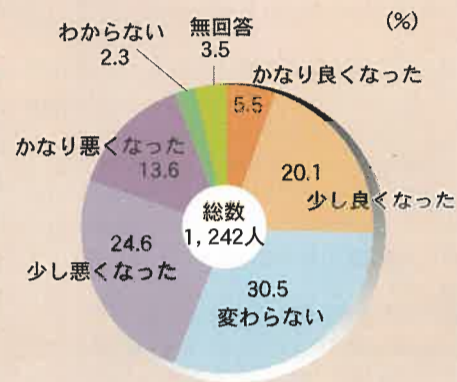
◇問合せ 県広報課 ☎028-623-2158

暮らしの変化…

質問 あなたの生活は、暮らしむきやまわりの生活環境などを含めて、5～6年の間にどう変わったと思いますか。

4人に1人は「良くなった」、「悪くなった」が4割

男女別でみると、「良くなった」は女性が男性より高く、逆に「悪くなった」は男性が上回っています。「良くなった」と回答したのは男女とも70歳以上の方が最も高くなっています。「悪くなった」と答えた方は男性の30歳代から50歳代、女性の40歳代が高く、ほぼ半数を占めています。「良くなった」と答えた方の半数は、「道路など公共施設による生活の便利さ」を挙げています。また、「悪くなった」の1位は「家計の状態」で昭和55年から連続で1位となっています。2位は「自然環境」。



県政への要望…

質問 あなたがいま、県政で特に力を入れて欲しいことを選んでください。(複数選択)

12年連続で高齢者福祉対策

「高齢者福祉対策」が平成2年から12年連続の1位となりました。次いで「青少年の健全育成」、「廃棄物の処理対策」が続いています。4位の「医療対策」は毎年高い順位となっており、5位の「雇用の安定と勤労者の福祉」に対する要望が年々高まっています。

県政への要望は、ほとんどの項目でポイント数が増加しており、県民の皆さんの県政に対する期待や関心の高まりを示す結果となりました。

	1位	2位	3位	4位	5位
平成13年	高齢者福祉対策 51.7	青少年の健全育成 43.6	廃棄物の処理対策 42.0	医療対策 39.9	雇用の安定と勤労者の福祉 36.2
平成12年	高齢者福祉対策 41.5	青少年の健全育成 39.3	廃棄物の処理対策 34.1	学校教育の充実 34.0	雇用の安定と勤労者の福祉 31.3
平成11年	高齢者福祉対策 46.5	廃棄物の処理対策 42.8	医療対策 39.2	雇用の安定と勤労者の福祉 39.1	青少年の健全育成 35.5
平成10年	高齢者福祉対策 47.3	医療対策 39.2	物価対策 34.2	廃棄物の処理対策 33.8	雇用の安定と勤労者の福祉 29.5
平成9年	高齢者福祉対策 48.2	医療対策 41.0	廃棄物の処理対策 30.1	下水道の整備 26.7	学校教育の充実 25.0
平成3年(10年前)	高齢者福祉対策 37.8	下水道の整備 30.9	医療対策 26.3	道路の整備 25.8	自然保護・緑化対策 24.0

また、調査項目で上位を占めた要望項目はいずれも、現在、県で取組を進めている重点施策です。特に、半数を超える皆さんが挙げた「高齢者福祉対策」については、健康と生きがいをいづりの推進や介護保険制度の円滑な運営など、活力ある長寿社会の実現に向けた取組を進めているところです。

この調査結果は、「暮らしの変化」の調査結果とともに、県政全般にわたり施策を進めるうえでの重要な基礎データとして活用されます。



県政の課題について…

県政の6つの課題について調査しました。調査の目的と、結果の一部をお知らせします。

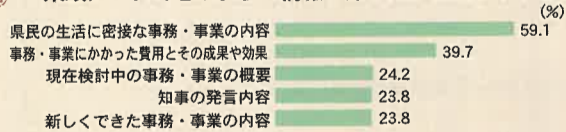
※「ボランティア・NPO等による社会貢献活動に関する意識」以外は複数回答。上位5項目を掲載。

情報公開

積極的な情報提供の推進など、今後の情報公開制度の運用に役立ちます。



問 県政についてどのような情報を知りたいと思いますか。



県民のインターネット活用状況

県民の皆さんの役に立つホームページを目指し、ホームページから提供する行政情報の充実に役立ちます。



問 インターネットでどのような行政手続きを行いたいですか。



ボランティア・NPO等による社会貢献活動に関する意識

今後のボランティア・NPO等による社会貢献活動の促進に役立ちます。



問 NPOという言葉を知っていますか。また、活動内容は知っていますか。



循環型社会への取組

ごみ問題の解決に向けて来年度策定を予定している「循環型社会推進ビジョン」に反映させます。



問 ごみ減量化を促進するための消費者の取組として有効であると考えられるものは何ですか。



食品の安全確保

食品の安全性を確保するための各種施策の推進に役立ちます。



問 食品の安全を確保するために、今後さらにどのようなことを充実・強化する必要があると考えますか。

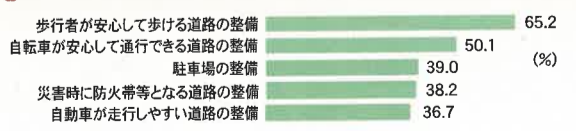


とちぎの道づくり

活力ある地域・都市づくりを支援し、快適で安全な生活を確保する道路整備に役立ちます。



問 どのような機能を強化した道路整備が必要だと思いますか。



「県政世論調査」の結果は、県ホームページ(<http://www.pref.tochigi.jp/>)でご覧になれます。調査結果をまとめた報告書をご希望の方は、県文書学事課情報公開班(県庁東館1階)でお求めください。

マロエト ガイ



花 歳 時 記

ポインセチア (トウダイグサ科)
クリスマスを連想させる赤と緑の絶妙な配色。部屋の雰囲気づくりに、もう飾っているお宅も多いことでしょう。一説によると、赤は太陽の色、緑は大地の色とか。中心にある黄色の花にも目を注いでください。

ウォッチングポイント
本種は法律により勝手な増殖が禁じられている植物。原産地メキシコ以外は花屋の店先で見られません。

県子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555

- プラネタリウム◎一般向け新番組「太陽系の誕生」◎現在明らかになりつつある太陽系誕生の謎にせまります◎特別番組「星さんぽ」◎平成14年1月12日(土)午後3時～◎冬の星座の探し方と2002年の天文現象について紹介します
- 天文台公開◎12月24日(月)午後1時～3時◎太陽と星間に見える星の観察を行います
- 天体観望会◎平成14年1月5日(土)午後7時～9時◎火星、土星、木星など◎大型望遠鏡で宇宙の神秘にふれてみませんか
- シダーニ博士のなんじゃろ実験室◎1月12日(土)◎博士とおかしな実験であそびましょう

県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

- 常設展のテーマ展示「近代南画の異才 石川寒巖展」◎12月24日(月)まで◎黒羽町に生まれ、日本の近代美術において重要な足跡を残した南画家・石川寒巖の作品を、当館のコレクションから展示します



松林図(1924年)

県立博物館

宇都宮市陸町2-2 ☎028-634-1312

- テーマ展「禅林の人物画」・「栃木の旧石器～最近の調査成果から～」◎いずれも12月23日(日)から
- 体験学習「カードを作ろう」◎12月22日(土)◎当日受付へ
- 博物館でやってみよう「十二単と鎧を着よう」◎平成14年1月14日(月)◎電話申込み



鳥山町宮原遺跡出土尖頭器/「栃木の旧石器」から

県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

- 北京京劇院 孫悟空大暴れ◎平成14年1月5日(土)午後3時開演◎ウィナー・ワルツ・オーケストラ◎1月6日(日)午後3時開演◎劇団四季ファミリーミュージカル「九郎衛門」◎1月9日(水)午後6時30分開演◎エリック・ベルシヨピアノ・エレガンス◎1月12日(土)午後2時開演



ウィナー・ワルツ・オーケストラ

お知らせ

Information

催し・講座

- 親子スケートのつどい
◎平成14年1月19日(土)～20日(日)◎場所 今市青少年スポーツセンター◎内容 スケート初心者に対する氷上指導ほか◎対象 小学生とその保護者◎定員 20組(1組2名)◎参加費 保護者4,000円、子供3,000円(貸靴代420円は含みません)◎申込締切 1月11日(金)◎問合せ 同センター☎0288-26-1155
- パーティ(とちぎ女性センター)の講座
◎カップル講座◎平成14年1月19日～2月9日の各土曜日午後2時～4時(全4回)◎内容 フットマッサージや介護の話など◎対象 18歳以上の方◎カップルで気軽にご参加ください◎定員 10組◎受講料 1組3,000円(全4回分)◎申込締切 12月26日(水)必着◎問合せ とちぎ女性センター(宇都宮市野沢町)☎028-665-7706

試験

- クリーニング師試験
◎平成14年2月19日(火)◎会場 県保健福祉会館(宇都宮市戸祭元町)◎受験資格 中学校卒業、または同等以上の学力があると認められる方◎願書受付期間 1月9日(水)～11日(金)◎受験手数料 7,000円◎問合せ 県環境衛生課☎028-623-3110

案内

- 福祉のしごと移動相談会
◎12月22日(土)午前10時30分～午後3時(受付終了午後2時30分)◎会場 佐野市総合ボランティアセンター(佐野市大橋町)◎福祉の仕事に就きたい方に福祉職の紹介・あつせん、求人状況、資格取得、学校案内などの情報提供、相談を行います◎相談無料◎問合せ 栃木県福祉人材・研修センター☎028-643-5622
- ホットほっと電話相談
◎希望のダイヤル(家庭教育やしつけに関する相談)☎028-665-4818
◎子育てホットライン(子育てに関する相談)☎028-665-8989

◎はじめ相談さわやかテレホン(はじめや不登校に関する相談)☎028-665-9999

◎電話相談は毎日受け付けています。お気軽にご相談ください◎時間 午前9時～零時(午前零時から留守番電話、ファクシミリで受付)◎問合せ 県生涯学習課☎028-623-3404

●フロン回収破壊法事業者説明会

◎平成14年1月11日(金)午後1時30分～3時30分◎場所 県総合教育センター(宇都宮市瓦谷町)◎内容 フロン回収破壊法の説明、登録手続きなど◎対象 業務用冷凍空調機器からフロン回収を行う事業者◎申込締切 1月8日(火)◎なお、カーエアコンからフロン回収を行う事業者等を対象にした説明会は後日開催します◎問合せ 県環境管理課☎028-623-3191

●Sマークをご存じですか?

◎次の3点について、定められた基準に従って営業しているお店(理容業・美容業・クリーニング業)には、Sマークが表示されています。①サービスの提供内容②店舗の衛生管理③事故による損害賠償◎問合せ (財)栃木県生活衛生営業指導センター☎028-625-2660



県の広報番組 とちぎテレビ

- クロスアップ とちぎ**
12月22日 21世紀の新都市像～国会等移転～
毎週土曜日 9:00～9:30
(再)月曜日 22:00～22:30
- アプー**
12月16日 ごみの減量化
23日 警察音楽隊の活躍
毎週日曜日 18:05～18:30
(再)月曜日 12:05～12:30
- とちぎ情報局**
【わがまち発見伝】
12月20日 高校生ロボコンテスト
1月10日 新春スペシャル「とちぎの家族」
毎週木曜日 22:00～22:45
(再)日曜日 8:30～9:15

◎特別番組 新春知事対談
「ひとまちこころ」作家 童門冬二さんと語る
1月1日(火)10:00～10:30(再)5日(土)9:00～9:30

◎問合せ 県広報課 ☎028-623-2190

雇用対策・中小企業対策を実施しています!!

雇用対策

- 新規学卒者の就職を支援します
新規学卒者の求人企業情報を提供しています。
◆学生職業情報センター(県庁本館2階) ☎028-623-3226
◆インターネット「WORK・WORK(わくわく)とちぎ」
http://www.tochigi-iin.or.jp/work2/
栃木労働局やハローワークと連携し、学生と企業との合同就職面接会を開催します。
◆期日 平成14年2月6日(水)
◆会場 宇都宮グランドホテル
◎問合せ 県労政課 ☎028-623-3224
- 離転職者の再就職を支援するため、各種の職業訓練を実施しています
◎問合せ 県職業能力開発課 ☎028-623-3235
- 高齢者・障害者等の雇用の促進
高齢者・障害者等の雇用の場を確保するために、県内のハローワークに特別職業相談員等を配置し、就職の支援を行っています。
- 緊急地域雇用対策特別事業の実施
「緊急地域特別交付金」により設置した「栃木県緊急地域雇用特別基金」を活用して雇用の創出を図っています。(小学校への非常勤講師配置事業など)

中小企業支援

- 新事業起こしを支援します(とちぎベンチャーサポートプラネット21)
創業をこころざす方や、新事業を展開しようとする企業に対して、構想段階から事業化に至るまでの取組を総合的に支援しています。
◎問合せ 県商工振興課産業基盤整備室 ☎028-623-3202
(財)栃木県産業振興センター ☎028-610-8171
- 中小企業の経営革新を支援します
新商品・新サービスの開発・提供など、経営の革新を図ろうとする中小企業を支援しています。
◎問合せ 県工業課 ☎028-623-3198
- 中小企業等の皆さんを資金面からサポートします(県制度融資)
中小企業等の皆さんを金融面から支援し、創業や新事業の開拓、企業経営の安定などを促進するため、制度融資を実施しています。
◎問合せ 県経営指導課 ☎028-623-3180

(制度融資概要表)

資金名	主な資金用途	利率	融資限度額
創業支援資金	勤務経験や法律に基づく資格を活かして創業するとき	2.0%以内	運転2,000万円 設備3,000万円
	融資金額と同額以上の自己資金を有し、新たに事業を開始するとき 事業を開始した日以後5年を経過していない企業の事業資金		運転・設備 2,000万円
新事業開拓支援資金	計画に基づき新事業の開拓や経営の革新を行うとき 新技術・新製品等の研究開発・試作・企業化を行うとき	1.9%以内	運転2,000万円 設備5,000万円
経営安定資金 (基盤強化融資)	不況、関連企業の倒産等により経営の安定に支障を生じているとき	1.6%以内	運転3,000万円

※利率は信用保証協会の保証付きの金利です。なお、このほかにも様々な融資がありますのでお問い合わせください。